

1:どんな菌なのか	1:腸内に生息する菌で、新生児の約50から70%が、健常成人でも5%程度の人が、消化管の中に保菌しているといわれている菌です。菌を持っていても、健常時には人に悪影響は与えることはありません。
2:どんな症状がおこるのか	2:この菌が毒素を出すことで下痢が起こります。その他には腹痛、発熱などの症状が起きることがあります。
3:どんな時に発症するのか	3:次のような経過を取ることで、下痢などの症状が起きます。 発症メカニズム 「抗生物質(抗菌薬)を使用する」→「腸内細菌の種類や量に変化が起こる」→「クロストリディオイデス・ディフィシル菌が異常に増殖できる環境になり、毒素を産生する」→「下痢をする」
4:どんな人がこのCDIIになりやすいのか	4:高齢者、重篤な基礎疾患がある、免疫機能が低下している、抗菌薬を使用している人が発症しやすいと言われています。
5:発症までの時間はどのくらいなのか	5:はっきりとよくわかっていないと言われています。抗生物質(抗菌薬)を使用したその日から発症する方もいらっしゃれば、抗菌薬を使い始めて5から10日経ってから発症する人もいます。抗生物質(抗菌薬)を使ってから約10週間は発症する可能性が高いとも言われています。
6:どんなことで感染するのか	6:①もともと何らかの理由でこの菌を腸の中に持っている(保菌している)方が抗生物質(抗菌薬)を使うことで発症する(内因性感染)と ②環境等を介して何らかの理由で自分の体内に取り込まれることで発症する(外因性感染) の2つの感染経路があります。
7:どのようにしたら感染しないのか	7:この菌は、芽胞(がほう)と呼ばれる固いカプセルのような殻に覆われていますので、アルコールを使う消毒方法は効果がありません。この菌は、水と石鹼を使ってしっかり手を擦り洗いする事で予防できます。